

収穫実演会等開催要領

南九州地域 子実用とうもろこし生産・利用に関する研修会及び収穫実演会

1 趣旨

輸入飼料価格の乱高下が続く中、濃厚飼料の約9割を輸入に依存している我が国畜産経営の安定化に向け、国産濃厚飼料の生産・利用に向けた取組が始まっています。

今般、国内有数の畜産地帯である南九州地域において、国の国産濃厚飼料生産利用推進事業を活用した子実用とうもろこしの実証展示ほ場の取組が行われ、関係機関の協力により、収穫実演会を開催することとしています。

本収穫実演会は、子実用とうもろこしの南九州地域への生産・利用拡大に向けて、生産者や関係機関の皆様を対象に、子実用とうもろこしの生産・利用に関する研修会と実証展示ほ場における収穫作業の実演を行います。

2 開催日時 令和元年8月19日（月） 10:00～15:00

3 開催場所 研修会会場：高城地区公民館（都城市高城生涯学習センター内）
（所在地：宮崎県都城市高城町穂満坊 105 番地）
収穫実演会：実証展示ほ場
（所在地：宮崎県都城市野々美谷）

4 日程

（1）研修会会場への交通手段

- ① 在来線利用の場合～都城駅集合・出発（9:15）
都城駅前に停車した借り上げバスに乘車し、高城地区公民館に移動。
- ② 新幹線利用の場合～都城北バス乗り場駐車場集合・出発（9:15）
新八代駅からB&Sみやざき401号（7:43発）の高速バス乗車にて「都城北」で下車。階段を降りた「ぼんちくんコインパーキング」前付近に停車した借り上げバスに乘車し、高城地区公民館に移動。
- ③ 自家用車の場合～高城生涯学習センター第2駐車場（会場まで徒歩3分）

（2）研修会（10:00～12:00）

- ① 開会
- ② 実用とうもろこしの生産・利用に取り組んだ経緯（25分）
（株）はざま牧場 代表取締役社長 間 健二郎氏
- ③ 子実用ともろこしの栽培実証に係る調査結果（25分）
（株）はざま牧場 取締役生産管理部長 東郷 優氏

収穫実演会等開催要領

- ④ 子実用とうもろこしの取組について～東北の事例を参考に～
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
畜産草地研究領域 研究領域長 山田 明央氏（予定）
- ⑤ 子実用とうもろこし生産・利活用の手引き（都府県向け）第1版の紹介
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター
畜産草地研究領域 飼料生産グループ グループ長 服部 育男氏（予定）

（12：00に昼食・休憩。13：00に借り上げバスで実証展示ほ場へ移動。なお、自家用車での実証展示ほ場への移動はできません。）

（3）収穫実演会（13：30～15：00）

- ① 子実用とうもろこしの収穫について（説明者）
株式会社クボタ 農機サービス第二部サービス技術第グループ
担当課長 山根 健史氏
- ② 収穫作業の実演
- ③ 質疑

（4）閉会

（収穫実演会終了後は、実証展示ほ場から借り上げバスにて、都城駅、都城北バス乗り場及び高城地区公民館第2駐車場まで乗車し、流れ解散）

5 参集範囲

県、市町村、生産者団体、生産者、農業関連会社 他

6 参加申込方法・参加費・申込先

参加申込書（エクセルファイル）に必要事項を記入の上、Eメール又はFAXで7月31日（水）までに申込願います。なお、参加費は無料です。（ただし、昼食申込者は当日受付にて代金（600円の予定）を支払い願います。）

申込先（E-mail）：hazama-hr@f-hazama.co.jp、（FAX）0986-36-0798

7 参加定員

120名（先着順）

8 その他留意事項

- ・当日は、収穫実演会会場の実証展示ほ場は関係車両を除き駐車できませんので、高城地区公民館からは、借り上げバスを利用願います。
- ・雨天の場合は内容を変更し、実証展示ほ場の視察のみとなる場合があります。なお、雨

収穫実演会等開催要領

具や長靴は各自で用意してください。

- ・ 実証展示ほ場の近くには、養豚施設があることから、家畜防疫上の観点から衛生管理区域への立入りはしないでください。

9 問い合わせ先

宮崎県都城市野々美谷町 1936 番地 1

(株)はざま牧場 担当 生産管理部長 東郷 優

電話 : 0986-36-0083 FAX : 0986-36-0798